

令和4年（2022年）の羊蹄山の火山活動

札幌管区气象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○噴火警報・予報の状況、2022年の発表履歴

2022年中変更なし

噴火予報（活火山であることに留意）

○2022年の活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図1～3）

9月27日に国土交通省北海道開発局の協力により上空からの観測を実施しました。これまでの観測結果と同様に、山頂火口周辺には噴気や地熱域は認められず、地形や植生なども前回の観測（2019年8月）と比べて特段の変化はありませんでした。

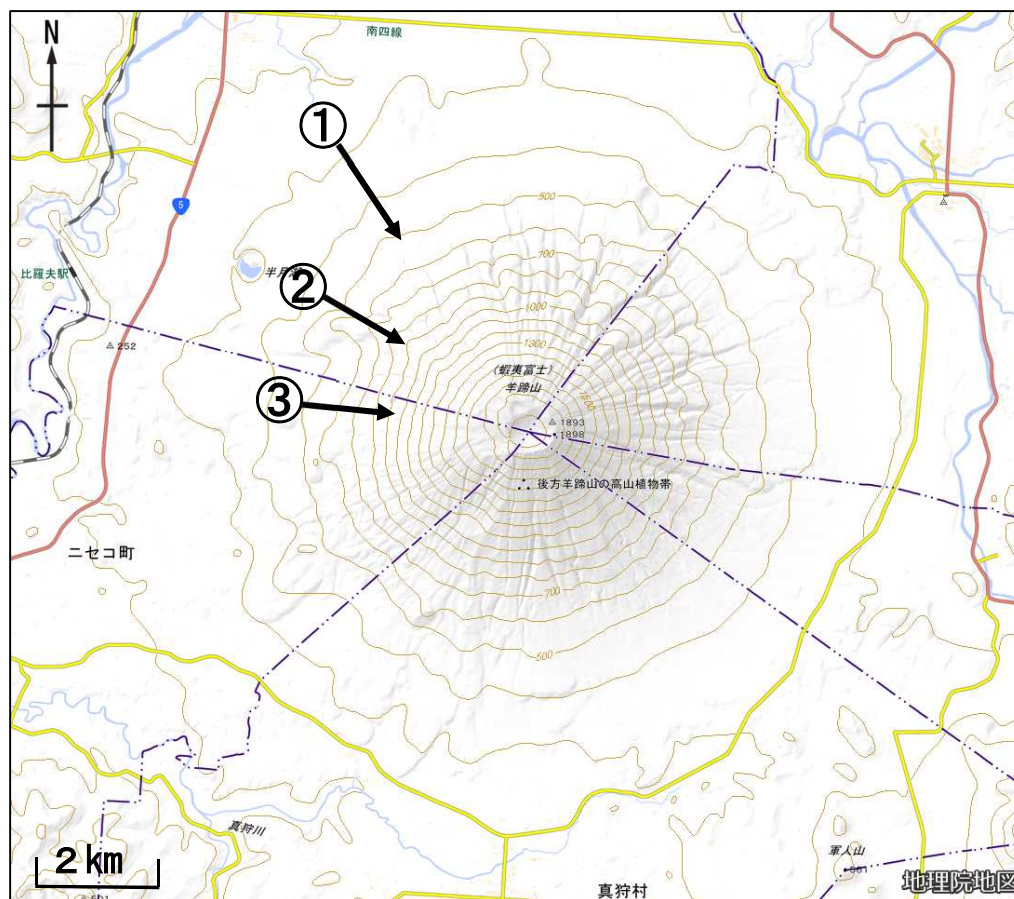


図1 羊蹄山 写真及び赤外熱映像の撮影方向（矢印）

この火山活動解説資料は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。



図2 羊蹄山 山体全体の状況 北西側上空（図1の①）から撮影

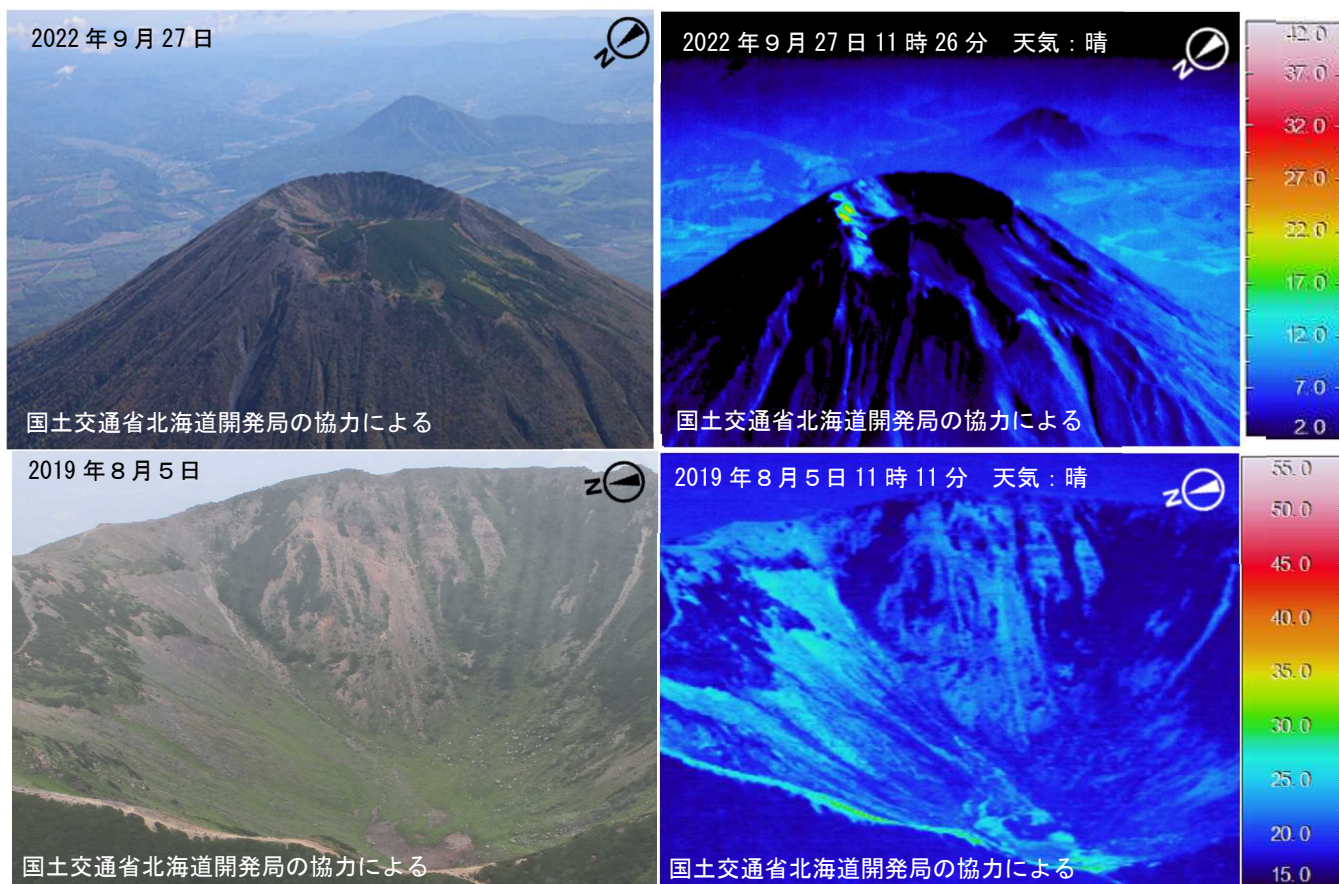


図3 羊蹄山 赤外熱映像装置による山頂火口の地表面温度分布

上段：北西側上空（図1の②）から撮影 下段：西側上空（図1の③）から撮影

- ・ 前回の観測（2019年8月）と同様に、山頂火口には噴気や地熱域は認められませんでした（一部領域で周囲に比べて温度が高く見えるのは日射による影響と考えられます）。